

松山信裕議員



○観光戦略について ○成年後見制度について

その他の質問
・CSR（企業の社会的責任）促進について
・勝山市環境基本計画について

一般質問

問 勝山市の観光の重要拠点「ジオターミナル」が完成した。ジオターミナル内の「勝山ツーリストインフォメーションセンター」は、森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社が運営する観光インフォメーションセンター「TICC TOKYO」と連携し、インターネットを通じてテレビ電話ができる「Skype」を活用して観光情報案内を行う新たなサービスを開始した。勝山市の地域の魅力を活かした持続可能な観光戦略を展開するためには、「TICC TOKYO」との連携が重要。今後の多様な展開はどのように考えているのか。

答 TICC TOKYOへの加盟により、国別来館者数、質問事例等の報告を受けているので、首都圏での知名度向上やインバウンド対策などの観光プロモーションの立案などに活用していく。また、外国人を対象に全国で観光案内業務に従事している多言語コンシェルジュや指導員を招いて研修会を行っており、TICC TOKYOとの連携により、勝山市の観光コンシェルジュのレベルアップを図るとともに、東京での観光プロモーションのベースとして活用していく。

問 成年後見制度とは、認知症の方、知的障がいの方、精神障がいのある方など判断能力の不十分な方が、財産管理や身上監護についての契約および遺産分割などの法律行為を行う際に、後見人が本人の不十分な判断能力を補い保護する制度。今後、社会状況の変化により増加することが予想され、成年後見制度や市民後見人の要請がより一層重要となってきた。勝山市の成年後見制度の利用と受け入れ態勢の現状と周知、啓発はどのように取り組んでいるのか。

答 勝山市の成年後見制度の利用者は、平成29年12月現在で47件となっている。勝山市社会福祉協議会に委託し、成年後見制度の普及啓発や相談業務を行っている。勝山市地域包括支援センターにおいて、地区サロン等で成年後見に関する講座を開催し、市民への周知を行っており、今後も、各種機会を捉え普及啓発に努める。

竹内和順議員



○学校給食と食育について ○ふるさと教育について

その他の質問
・教職員の異動について

一般質問

問 勝山市の9小学校すべて自校方式に対して、中学校は、3中学校ともデリバリー方式で、外部に民間委託し、給食の時間になると配送されてくる仕組みになっている。1食あたり保護者負担291円、市負担219円で1食510円の給食となっている。他市と比較して、勝山市の中学校給食の現状について市の見解を伺う。

答 中学校給食は現在、温かい状態で提供している。献立については、委託業者の管理栄養士と市の栄養教諭等で打ち合わせを行い、地産地消に配慮した地場産学校給食の推進や伝承料理を取り入れた食育に配慮している。また、他県の郷土料理を取り入れて普段の給食との違いを感じることができ、さらに今年度は県の新規事業として、福井ポーク等のブランド化されている食材を使った献立を検討している。今後も勝山市の地域性を活かしたより良い給食の在り方を検討していく。

問 勝山市には、全国でもいち早く取り組み始めたESD（持続可能な開発のための教育）があり、自分が生まれ育った勝山の魅力を体感し、ふるさとに愛着や誇りを持った子どもたちを育てる教育を行っている。帰る場所がある教育は素晴らしいことであり、人間にとってこれほど安心なものはないと考える。そこで、このまちに誇りを持つ子どもたち・若者の意見は貴重であり、将来性のある声だと考える。若者の意見の市政への反映についてどのような事業があるのか伺う。

答 昨年度行われた市長と語る会において、中学生、高校生からの提案は、「勝山市の魅力の一つである雪を有効活用し、市民全体で協力して取り組めるイベントを行う」、「観光にたくさん訪れる高齢者のために、少しでも楽に観光できる工夫をする」とよい。などがあつた。これらの意見の市政への反映については、雪室を利用したイベントなど実際に行っている事業もある。若者の目線や発想から出てきた意見に関係所管課に働きかけ、さらなる施策の充実を図られるように努めたい。